

審 議 事 項

件名・議案	提案者	別添資料(頁)	提案理由等 (※主催シンポジウム等関係、後援関係については概要を記載)	説明者
1. 委員会関係				
提案1	(幹事会附置委員会) 東日本大震災復興支援委員会 (1)分科会委員の決定 (追加2件)	会長	別添1 (1) 東日本大震災復興支援委員会における災害に対するレジリエンスの構築分科会及びエネルギー供給問題検討分科会委員を決定する必要があるため。	会長
提案2	(機能別委員会) 国際委員会 (1)分科会等委員の決定 (追加2件)	国際委員会委員長	別添1 (2) 国際委員会における分科会委員及び小分科会委員を決定する必要があるため。	春日副会長
提案3	分野別委員会 (1)運営要綱の一部改正 (新規設置1件) (2)分科会等委員の決定 (【分科会】追加3件【小委員会】新規1件)	(1)総合工学委員会委員長、 電気電子工学委員会委員長 (2)各部部长	別添1 (3 ~ 5) 分野別委員会に小委員会を設置すること等に伴い、運営要綱を一部改正するとともに、分科会及び小委員会の委員を決定する必要があるため。	会長 各部部长
2. 提言等関係				
提案4	報告「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準：経営学分野」を日本学術会議会則第2条第4号の「報告」として取り扱うこと	大学教育の分野別質保証推進委員会委員長	別添2 大学教育の分野別質保証推進委員会経営学分野の参照基準検討分科会において、報告を取りまとめたので、関係機関等に対する報告として、これを外部に公表したいため。	奥林分科会副委員長、北原親委員会委員長
提案5	回答「高レベル放射性廃棄物の処分について」を日本学術会議会則第2条第5号の「回答」として取り扱うこと	高レベル放射性廃棄物の処分に関する検討委員会委員長	別添3 【資料非公開】 内閣府原子力委員会委員長からの審議依頼である「高レベル放射性廃棄物の処分の取組における国民に対する説明や情報提供のあり方についての提言のとりまとめ」に対し、日本学術会議会則第2条に基づき回答したいため。	今田委員長、柴田幹事
3. 規則関係				
提案6	「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」を一部改正すること	国際委員会委員長	別添1 (6 ~ 16) ※新旧対照表は7~10、その他は説明用資料	春日副会長
4. 国際関係				

	件名・議案	提案者	別添資料(頁)	提案理由等 (※主催シンポジウム等関係、後援関係については概要を記載)	説明者
提案7	平成24年度代表派遣について、実施計画の一部を変更すること	会長	別添1(17)	平成24年度代表派遣について、実施計画を一部変更することとしたため。	春日副会長
提案8	第13回アジア学術会議に関するタイ科学協会との事前打合せに会員を派遣すること	国際委員会委員長	—	<p>第13回アジア学術会議は、平成25年(2013年)4月にタイ科学協会が主催してバンコクで開催予定となっている。第13回会合開催に先立ち、会場視察を始め、主催機関であるタイ科学協会と開催内容等について事前打合せを行うべく、白田佳子会員(第1部、アジア学術会議分科会委員長、アジア学術会議事務局長)を派遣することとした。</p> <p>会議名：第13回アジア学術会議に関するタイ科学協会との事前打合せ 派遣者：白田佳子会員(第一部) 期間：10月1日(月)～10月2日(火) 会場：タイ科学協会他(タイ・バンコク)</p>	春日副会長
提案9	AASSA (The Association of Academies and Societies of Sciences in Asia) 設立会合へ会員を派遣すること	国際委員会委員長	—	<p>スリランカ国家科学アカデミーより、アジア学術会議(SCA)事務局長に対し、SCAと同じくアジアを拠点とする学術機関であるAASSA (The Association of Academies of Sciences in Asia) とFASAS (The Federation of Asia Scientific Academies and Societies) の合併を念頭においたAASSA (The Association of Academies and Societies of Sciences in Asia) 設立会合へのオブザーバー参加の要請があったことから、SCA事務局長であり、アジア学術会議分科会委員長である白田佳子会員を派遣し、出席者との情報・意見交換等を行わせることとした。</p> <p>会議名：AASSA (The Association of Academies and Societies of Sciences in Asia) 設立会合 派遣者：白田佳子会員(第一部) 期間：10月16日(火)～17日(水) 会場：スリランカ国家科学アカデミー(スリランカ・コロンボ)</p>	春日副会長

	件名・議案	提案者	別添資料(頁)	提案理由等 (※主催シンポジウム等関係、後援関係については概要を記載)	説明者
提案10	国際シンポジウム“Shaping the Future of Young Academies”へ若手アカデミー委員会委員を派遣すること	国際委員会委員長	別添1(18) ※参考	オランダ若手アカデミーとグローバルヤングアカデミー(GYA)より、連名形式にて同組織共催する国際シンポジウムへの代表者の派遣要請があったことから、日本学術会議若手アカデミー委員会の委員2名を派遣することとしたい。 イベント名：国際シンポジウム“Shaping the Future of Young Academies” 派遣者：狩野光伸(特任連携会員、若手アカデミー委員会副委員長) 竹村仁美(特任連携会員、若手アカデミー委員会委員) 期間：10月31日(水)～11月1日(木) 会場：オランダ王立人文科学アカデミー(オランダ・アムステルダム)	春日副会長

5. シンポジウム等

提案11	公開シンポジウム「超高齢社会の女性の健康問題を解決する新しい視点—体力医学研究における男女共同参画活動の推進に向けて、女性研究者からの提案学」	健康・生活科学委員会委員長	別添1(19～20)	主催：日本学術会議健康・生活科学委員会健康・スポーツ科学分科会 日時：平成24年9月14日(金) 13:00～14:30 場所：岐阜都ホテル2階	会長
提案12	公開シンポジウム「チーム医療における薬剤師の職能とキャリアパス」	薬学委員会委員長	別添1(21～22)	主催：日本学術会議薬学委員会チーム医療における薬剤師の職能とキャリアパス分科会 日時：平成24年9月25日(火) 13:00～17:00 場所：慶應義塾大学薬学部芝共立キャンパス	会長
提案13	第11回産学官連携推進会議	会長	別添1(23～24)	主催：日本学術会議 日時：平成24年9月28日(金) 10:00～17:00 場所：東京国際フォーラム	会長
提案14	日本経営史学会第48回大会パネル・ディスカッション「経済政策史資料保存促進のために、いま何が必要か?—公文書管理法と現代経済史・経営史資料—」	経済学委員会委員長	別添1(25～26)	主催：日本学術会議経済学委員会経済政策史資料適正保存促進分科会 日時：平成24年11月4日(日) 9時00分～12時00分 場所：明治大学駿河台校舎	会長
提案15	海洋放射能汚染に関する国際シンポジウム—海洋へ与える福島原発事故の影響を探る—	東日本大震災復興支援委員会委員長	別添1(27～30)	主催：日本学術会議東日本大震災復興支援委員会放射能対策分科会 日時：平成24年11月12日(月)～14日(水) 場所：東京大学山上会館	会長

	件名・議案	提案者	別添資料(頁)	提案理由等 (※主催シンポジウム等関係、後援関係については概要を記載)	説明者
提案16	公開シンポジウム「植物保護におけるゲノム科学の利用」	農学委員会委員長	別添1 (31 ～ 32)	主催：日本学術会議農学委員会植物保護科学分科会 日時：平成24年11月13日（火） 13:00～17:30 場所：日本学術会議講堂	会長
提案17	公開シンポジウム「先進的インビボサイエンス研究の推進」	基礎医学委員会委員長	別添1 (33 ～ 34)	主催：日本学術会議基礎医学委員会機能医科学分科会 日時：平成24年11月19日（月） 13:00～17:00 場所：北海道大学医学部フラテホール	会長
提案18	日本学術会議九州・沖縄地区会議主催講演会「高齢化社会の健康食品と医療技術」（仮題）	科学者委員会委員長	別添1 (35)	主催：日本学術会議九州・沖縄地区会議、佐賀大学 日時：平成24年12月7日（金） 14:00～16:40 場所：佐賀大学	会長
提案19	公開シンポジウム「情報をライフラインに」	情報学委員会委員長	別添1 (36 ～ 37)	主催：日本学術会議情報学委員会、情報処理学会 日時：平成25年3月7日（木） 13:00～17:15 場所：東北大学川内キャンパス	会長

6. 後援

提案20	国際会議の後援をすること	会長	—	<p>以下の国際会議について後援の申請があり、国際委員会において審議を行ったところ、適当である旨の回答があったので、後援することとしたい。</p> <p>①科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム第9回年次総会 主催：特定非営利活動法人STSフォーラム 共催：社団法人科学技術国際交流センター 日時：平成24年10月7日（日）～9日（火） 場所：国立京都国際会館 参加予定者数：国外約700名、国内約300名、計約1,000名 参加予定国数：100ヶ国・地域 申請者：特定非営利活動法人STSフォーラム 理事長 尾身 幸次</p> <p>②日独シンポジウム「ポジティブ・エイジング」 主催：ドイツ 科学・イノベーションフォーラム 東京 共催：ドイツ国立アカデミーレオポルディーナ、東京大学高齢社会総合研究機構 日時：平成24年10月9日（火） 場所：ホテルニューオータニ 参加予定者数：国外約20名、国内約130名、計約150人 参加予定国数：2ヶ国 申請者：ドイツ科学・イノベーションフォーラム東京ディレクター レギーネ・ディート</p>	会長
------	--------------	----	---	---	----

件名・議案	提案者	別添資料(頁)	提案理由等 (※主催シンポジウム等関係、後援関係については概要を記載)	説明者
		一	<p>③第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議2012 in 福岡 主催：国際ユニヴァーサルデザイン協議会 共催：福岡県、福岡市 日時：平成24年10月12日（金）～14日（土） 場所：福岡国際会議場、福岡国際センター 参加予定者数：国外約1,000人、国内約11,000人、計約12,000人 参加予定国数：30ヶ国 申請者：国際ユニヴァーサルデザイン協議会評議員会議長 岡本 一雄</p> <p>④第9回世界歯内療法会議 主催：国際歯内療法連盟 日時：平成25年5月23日（木）～26日（日） 場所：東京国際フォーラム 参加予定者数：国外約510人、国内約1,000人、計約1,510人 参加予定国数：34ヶ国・地域 申請者：日本歯内療法学会 会長 赤峰 昭文 第9回世界歯内療法会議 大会長 須田 英明</p>	
<p>国内会議の後援をすること</p> <p>提案21</p>	<p>会長</p>	一	<p>以下の会議について、後援の申請があり、関係する部、委員会に審議付託したところ、適当である旨の回答があったので、後援することとしたい。</p> <p>①自然災害軽減に関する日本工学会・合同国際ワークショップ 主催：社団法人日本工学会、世界工学団体連盟（WFEO） 共催：一般社団法人日本建築学会、公益社団法人土木学会 日時：平成24年9月13日（木） 場所：名古屋大学ES総合館 申請者：社団法人日本工学会会長 柘植 綾夫 参加予定者数：約100名 審議付託先：第三部</p> <p>②第10回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム 主催：男女共同参画学協会連絡会 共催：東京慈恵会医科大学 日時：平成24年10月7日（日） 場所：東京慈恵会医科大学 参加予定者数：約120名 申請者：男女共同参画学協会連絡会 第10期委員長 関野 祐子 審議付託先：科学者委員会</p>	<p>会長</p>

件名・議案	提案者	別添資料(頁)	提案理由等 (※主催シンポジウム等関係、後援関係については概要を記載)	説明者
			<p>③平成24年度工学教育連合講演会 主催：公益社団法人日本工学教育協会 日時：平成24年10月26日(金) 場所：工学院大学新宿キャンパス 参加予定者数：約200名 申請者：公益社団法人日本工学教育協会 会長 松本 洋一郎 審議付託先：第三部</p> <p>④第4回市民健康フォーラムー安全・安心な医療と専門医ー 主催：社団法人日本専門医制評価・認定機構 日時：平成24年11月10日(土) 場所：東京国際フォーラム 参加予定者数：約400～500名 申請者：社団法人日本専門医制評価・認定機構 理事長 池田 康夫 審議付託先：第二部</p> <p>⑤大学改革シンポジウム「地域の元気をつくるプレミアム人材の育成ー地方国立大学連携の役割ー」 主催：国立大学法人徳島大学 地域学系大学・学部等連携協議会 日時：平成24年11月12日(月) 場所：一橋大学一橋講堂 参加予定者数：約100名 申請者：国立大学法人徳島大学学長 香川 征 審議付託先：第一部～第三部</p> <p>⑥第36回人間ー生活環境系シンポジウム 主催：人間ー生活環境系学会 日時：平成24年12月1日(土)、2日(日) 場所：大同大学滝春校舎 参加予定者数：約120名 申請者：人間ー生活環境系学会会長 大中 忠勝 審議付託先：第二部、第三部</p> <p>⑦第4回国際常民文化研究機構・国際シンポジウム「二つのミンゾク学ー多文化共生のための人類文化研究ー」 主催：国際常民文化研究機構、神奈川大学日本常民文化研究所 日時：平成24年12月8日(土)、9日(日) 場所：神奈川大学横浜キャンパスセレストホール 参加者数：約280名 申請者：神奈川大学日本常民文化研究所 所長・国際常民文化研究機構運営委員会委員長 佐野 賢治 審議付託先：第一部</p>	

件名・議案	提案者	別添資料 (頁)	提案理由等 (※主催シンポジウム等関係、後援関係については概要を記載)	説明者
			⑧第26回数値流体力学シンポジウム 主催：一般社団法人日本流体力学会 日時：平成24年12月18日(火)～20日(木) 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター 参加予定者数：約500名 申請者：一般社団法人日本流体力学会 会長 杉本 信正、第26回数値流体力学シンポジウム実行委員長 加藤 千幸 審議付託先：第三部	